ドイツ語学科授業科目表

学則別表 I-1 ドイツ語学科

科目群	部 門	科 目	単 位	リベラルアーツコース			プロジェクトコース		
				必 修	選択必修	選 択	必 修	選択必修	選 択
外国語科目	初級ドイツ語	実践ドイツ語Ⅰ	1	4			4		
		実践ドイツ語Ⅱ	1	4			4		
		ドイツ語文法基礎Ⅰ	1	2			2		
		ドイツ語文法基礎Ⅱ	1	2			2		
	中級ドイツ語	実践ドイツ語Ⅲ	1	4			4		
		実践ドイツ語Ⅳ	1			16*	4		
		ドイツ語読解Ⅰ	1	2					
	学外ドイツ語	学外ドイツ語活動	2				2		
	選択ドイツ語	Kontext	2				20		16*
	英語	German Studies in English I	2		4	16*			
上級英語	German Studies in English II	2							
リベラルアーツ科目	基礎教養科目	リベラルアーツⅠ	2	2			2		
		リベラルアーツⅡ	2	2			2		
		アカデミックスキルズ	2	2			2		
	言語・文学・思想	ドイツ語圏の言語・文学・思想A	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想B	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想C	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想D	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想E	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想F	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想G	2						
		ドイツ語圏の言語・文学・思想H	2						
	芸術・文化	ドイツ語圏の芸術・文化A	2						
		ドイツ語圏の芸術・文化B	2						
		ドイツ語圏の芸術・文化C	2						
		ドイツ語圏の芸術・文化D	2						
		ドイツ語圏の芸術・文化E	2		20	16*		8	16*
		ドイツ語圏の芸術・文化F	2						
		ドイツ語圏の芸術・文化G	2						
		ドイツ語圏の芸術・文化H	2						
	歴史・現代社会	ドイツ語圏の歴史・現代社会A	2						
ドイツ語圏の歴史・現代社会B		2							
ドイツ語圏の歴史・現代社会C		2							
ドイツ語圏の歴史・現代社会D		2							
ドイツ語圏の歴史・現代社会E		2							
ドイツ語圏の歴史・現代社会F		2							
ドイツ語圏の歴史・現代社会G		2							
ドイツ語圏の歴史・現代社会H		2							
交流文化	交流文化論**	2							
演習科目	基礎演習	基礎演習Ⅰ	2	2			2		
		基礎演習Ⅱ	2	2			2		
	ドイツ語課題演習	ProjektⅠ	2					8	16*
		ProjektⅡ	2						
	上級演習	SeminarⅠ	2			16*	4		
		SeminarⅡ	2				4		
		SeminarⅢ	2				8		
		専門演習	2	8					
卒業論文演習	卒業論文演習	2	4						
専門講読演習	専門講読演習	2	8		16*			16*	
卒業論文		4	4						
ドイツ語卒業研究		4				4			
教職関連科目***	ドイツ語科教科教育法Ⅰ	2							
	ドイツ語科教科教育法Ⅱ	2							
	ドイツ語科教科教育法Ⅲ	2							
	ドイツ語科教科教育法Ⅳ	2							
外国語学部共通科目(別表I-5)		2		4			4		
全学共通授業科目	全学総合科目群(別表IV-1-5)	全学総合講座部門				16*			
		全学共通講義科目部門							
		全学共通実践科目部門							
別表IV-1-5	英語部門								
	日本語部門****		10			10			
	外国語部門(英語以外)								
卒業に必要な単位数合計				64	48	16	82	30	16
				128			128		

備考

- 卒業に必要な選択科目(※印)は、所定の範囲内から合わせて16単位を修得する。
 - 卒業に必要な選択科目のうち16単位までは、他学部および他学科の単位をもって代用できる。ただし、他学部科目の単位は、8単位以内とする。
 - 交流文化論(※※印)は、「別表I-4 交流文化学科」学科専門科目「ツーリズム部門およびトランスナショナル文化部門」の別に定める科目から、16単位を上限として履修することができる。
 - 「ドイツ語科教科教育法Ⅰ」、「ドイツ語科教科教育法Ⅱ」、「ドイツ語科教科教育法Ⅲ」、「ドイツ語科教科教育法Ⅳ」(※※※印)は、教職課程履修者のみ履修することができる。
 - 日本語部門(※※※※印)は、外国人学生および帰国学生が、別に定める規程に基づき履修することができる。
- 本表は、2024年度入学者から適用する。ただし、2023年度以前に入学者ならびに2024年度以前に第2学年に入学者および2025年度以前に第3学年に入学者については、なお従前の例による。

ドイツ語学科のカリキュラム

カリキュラムの特徴

ドイツ語学科のカリキュラムは、十分なドイツ語運用能力の養成と、ドイツ語圏の言語・歴史・文化・社会に関する専門知識および研究能力の修得を目指しています。ドイツ語運用能力については、1・2学期に「外国語科目」の初級ドイツ語科目を、3・4学期に中級ドイツ語科目を履修することで、その基本的能力を修得します。

ドイツ語圏の文化や社会に関する専門知識および研究能力については、1・2学期に「演習科目」の「基礎演習」を、3-8学期に「演習科目」の「上級演習」を履修することで、またそれと並行して1-8学期に「リベラルアーツ科目」を履修することで、その修得を目指します。ドイツ語学科では、3学期から「リベラルアーツコース」と「プロジェクトコース」にコースが分かれます。それぞれのコースでは必要とされる修得単位が異なるので注意してください。[下の表参照]。また、コース分けについてはP.44を参照してください。

卒業に必要な単位数

科目群ごとに次の要件を満たし、**128**単位を修得します。

リベラルアーツコース

科目群等	必要・選択必修	選択
外国語科目	24単位	16単位
リベラルアーツ科目	26単位	
演習科目	24単位	
卒業論文	4単位	
外国語学部共通科目	4単位	
全学共通授業科目	30単位	
合計	128単位	

プロジェクトコース

科目群等	必要・選択必修	選択
外国語科目	42単位	16単位
リベラルアーツ科目	14単位	
演習科目	28単位	
ドイツ語卒業研究	4単位	
外国語学部共通科目	4単位	
全学共通授業科目	20単位	
合計	128単位	

選択科目のうち16単位までは、他学部および他学科の単位を卒業要件に算入することができます。ただし、他学部科目の単位は、8単位以内に限りま

各学期に登録できる単位数

1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期
22単位	22単位	23単位	23単位	24単位	24単位	24単位	24単位

教職・司書教諭・司書課程科目は登録上限に含まれません。

既修条件について

リベラルアーツコースについては、「卒業論文演習」を履修するには、「アカデミックスキルズ」および「基礎演習Ⅰ」か「基礎演習Ⅱ」のどちらかの単位を修得している必要があります。そして、「卒業論文」を履修するには、同時に「卒業論文演習」を履修する必要があります。(つまり、「アカデミックスキルズ」および「基礎演習Ⅰ」か「基礎演習Ⅱ」のどちらかの単位を取っていないと、「卒業論文」も登録できません。)

プロジェクトコースにおいては、「SeminarⅢ」を履修するには、「アカデミックスキルズ」および「基礎演習Ⅰ」か「基礎演習Ⅱ」のどちらかの単位を修得している必要があります。そして「ドイツ語卒業研究」を履修するには、同時に「SeminarⅢ」を履修する必要があります。(つまり、「アカデミックスキルズ」および「基礎演習Ⅰ」か「基礎演習Ⅱ」のどちらかの単位を取っていないと、「ドイツ語卒業研究」も登録できません。)

進級について

8学期まで修得単位数に関係なく進級できます。しかし、特に必修・選択必修の科目、なかでも「アカデミックスキルズ」、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」など、他の科目の既修条件になっている科目を順調に修得できないと、4年間での卒業が難しくなります。

また、各学期で登録できる単位数に上限があるため、4学期修了までに**32**単位、または6学期修了時までに**80**単位を修得できない場合は、4年間で卒業することができません。ただし、「大学以外の教育施設等における学修」(P.16)、短期留学等による単位の認定を受けた場合はこの限りではありません。

なお、休学した場合は、同一学期にとどまります。

リベラルアーツコース

必修・選択必修科目 [112単位]

	外国語科目 [24]		リベラルアーツ科目 [26]		演習科目 [24]		卒業論文 [4]	外国語学部 共通科目 [4]	全学共通 授業科目 [30]
7・8 学期	Kontext		German Studies in English II	リベラル アーツII [2] (2×1)	卒業論文演習 [4] (2×2)	卒業論文 [4] (4×1)			
5・6 学期			German Studies in English I	ドイツ語圏の 言語・文学・思想 A～H ドイツ語圏の 芸術・文化 A～H ドイツ語圏の 歴史・現代社会 A～H [20] (2×10)	専門演習 [8] (2×4)	専門講義演習 [8] (2×4)		全学共通 授業科目表 (P.26) 外国語学部 共通科目 授業科目表 (P.34) 外国語科目群 英語が「English」 10単位必修 を含む	
3・4 学期	実践 ドイツ語III [4] (1×4)	ドイツ語読解 I・II [4] (1×4)	[4] (2×2)	リベラル アーツI アカデミック スキルズ [4] (2×2)	専門演習 [8] (2×4)				
1・2 学期	実践ドイツ語 I・II [8] (1×8)	ドイツ語文法 基礎I・II [4] (1×4)			基礎演習I・II [4] (2×2)				

ドイツ語運用能力
英語運用能力
専門知識および研究能力の修得

[] 内の数字は単位数を表しています。[4] (2×2) = [4単位] (2単位科目×2コマ)

選択科目 [16単位]

「外国語科目」「リベラルアーツ科目」「演習科目」「ドイツ語卒業研究」「外国語学部共通科目」「全学共通授業科目」より履修。

プロジェクトコース

必修・選択必修科目 [112単位]

	外国語科目 [42]		リベラルアーツ科目 [14]		演習科目 [28]		ドイツ語 卒業研究 [4]	外国語学部 共通科目 [4]	全学共通 授業科目 [20]
7・8 学期			Kontext [20] (2×10)	リベラル アーツII [2] (2×1)	SeminarIII [8] (2×4)	Projekt I・II [8] (2×4)	ドイツ語 卒業研究 [4] (4×1)		
5・6 学期	学外 ドイツ語活動 [2] (2×1)			ドイツ語圏の 言語・文学・思想 A～H ドイツ語圏の 芸術・文化 A～H ドイツ語圏の 歴史・現代社会 A～H [8] (2×4)	SeminarII [4] (2×2)			全学共通 授業科目表 (P.26) 外国語学部 共通科目 授業科目表 (P.34) 外国語科目群 英語が「English」 10単位必修 を含む	
3・4 学期	実践ドイツ語 III・IV [8] (1×8)			リベラル アーツI アカデミック スキルズ [4] (2×2)	SeminarI [4] (2×2)				
1・2 学期	実践ドイツ語 I・II [8] (1×8)	ドイツ語文法 基礎I・II [4] (1×4)			基礎演習I・II [4] (2×2)				

ドイツ語運用能力
専門知識および研究能力の修得

[] 内の数字は単位数を表しています。[4] (2×2) = [4単位] (2単位科目×2コマ)

選択科目 [16単位]

「外国語科目」「リベラルアーツ科目」「演習科目」「卒業論文」「外国語学部共通科目」「全学共通授業科目」より履修。

コースについて

3学期の開始時点で、ドイツ語学科の学生は、ドイツ語圏の文化や社会に関する分野横断型の教養を身につけ各自の専門性を深める「リベラルアーツコース」と、ドイツ語を使用して多様な専門的観点からドイツ語圏を「課題(問題)発見型」で研究する「プロジェクトコース」に分かれて学びます。一度選択したコースは原則として変更できません。このコースを決めるのは2学期の時点です(コースの決め方は1年生のP.44を参照してください)。

専門演習およびSeminar

リベラルアーツコースの学生は「専門演習」で、プロジェクトコースの学生は「Seminar I・II・III」で、少人数の演習形式で調査・発表・検討を行い、ドイツ語圏の言語・文学・思想、芸術・文化、歴史・現代社会に関する研究能力を養成し、各自の専門性を深めます。リベラルアーツコースでは「専門演習」が、プロジェクトコースでは「Seminar」がそれぞれ必修科目です。(対して、リベラルアーツコースの学生にとって「Seminar I・II・III」、そして、プロジェクトコースの学生にとって「専門演習」は、選択科目です。時間割上、必修科目と重ならない場合は履修可能ですが、事前に担当教員に連絡をし、受講の許可を取ってください)。

「専門演習」(ゼミ)は2学期に行われる選択(選考)で決定した教員の科目を履修してください。原則として3学期から6学期まで同一の担当教員のもとで履修します。

「Seminar I」も2学期目に、どの教員のSeminar Iを取るかを決定します。Seminarは毎学年ごとに学びたいテーマをもとに選びます。

交流文化論

「交流文化論」は、「交流文化学科」の別に定める科目(P.33参照)から、16単位を上限として3学期より履修することができます。

学外ドイツ語活動

この科目は、プロジェクトコースの学生に必修の科目です(リベラルアーツコースの学生には選択科目となります)。この科目では、学生は教室を「飛び出し」、現実の実践的な環境でドイツ語を使うことで、ドイツ語を効果的に身に付けることを目的としています。なお、この科目の履修は、標準としては3学期以降を推奨します。8学期目は、活動の種類によっては単位認定ができない可能性があるため、くれぐれも注意してください。8学期目の履修を検討する学生は、事前に必ず教務課に相談してください。

※学外ドイツ語活動を単位修得するパターン

- ①長期・短期留学に参加して、単位認定を受けます。この場合の成績評価はPとなります。
- ②海外の大学が提供するオンラインプログラムやタンデムプログラムを履修登録します。この場合の成績評価は特優(AA)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(F)、不可(FG)となります。

詳細に関して変更がある場合がありますので、必ず毎年行われるガイダンスで確認してください。

1 学年 (1・2 学期)

1・2 学期は、大学の仕組みに慣れながら、自分の研究分野や大学での学びの方向を決める時期です。2 学期には、3 学期以降に、自分がリベラルアーツコースかプロジェクトコースで学ぶかの選択をします (P.44 参照)。そしてリベラルアーツコースに進む学生は 3 学期目から、どの「専門演習」(ゼミ) で学ぶかも決定します。プロジェクトコースに進む学生も、3 学期目から Seminar という科目を履修するために、どのテーマについて学ぶかを 2 学期目に決めます。

登録できる単位数

1 学期に登録できる単位数は **22** 単位、2 学期に登録できる単位数も **22** 単位です。ただし、教職課程科目は履修登録上限である 22 単位とは別枠として履修できます。1・2 学期にクラス指定の必修科目 (「実践ドイツ語 I・II」「ドイツ語文法基礎 I・II」「基礎演習 I・II」) をすべて (合わせて 16 単位)、また「リベラルアーツ I」と「アカデミックスキルズ」の両方 (合わせて 4 単位) を履修しなければなりません。加えて全学共通授業科目英語部門「English」のうち受講指定の 4 単位を履修しなければなりません。指定されたすべての必修科目を履修したうえで、さらに各学期で定められている履修単位の上限を超えない範囲で、「リベラルアーツ科目」に配置されている「言語・文学・思想」、「芸術・文化」、「歴史・現代社会」の講義科目、「外国語学部共通科目」、「全学共通授業科目」などを選択して登録することができます。

履修できる科目

クラス指定の必修科目

外国語科目		
科目	単位数	備考
実践ドイツ語 I	4(1 単位×週 2 回) (1 日 2 時限連続)	受講指定
実践ドイツ語 II	4(1 単位×週 2 回) (1 日 2 時限連続)	受講指定
ドイツ語文法基礎 I	2(1 単位×週 2 回)	受講指定
ドイツ語文法基礎 II	2(1 単位×週 2 回)	受講指定

リベラルアーツ科目		
科目	単位数	備考
リベラルアーツ I	2(2 単位×週 1 回)	全クラス合同
アカデミックスキルズ	2(2 単位×週 1 回)	全クラス合同

演習科目		
科目	単位数	備考
基礎演習 I	2(2 単位×週 1 回)	クラス指定
基礎演習 II	2(2 単位×週 1 回)	クラス指定

全学共通授業科目			
部門	科目	単位数	備考
英語部門	English	4(1 単位×4 科目)	受講指定

選択できる科目

リベラルアーツ科目		
科目	単位数	備考
ドイツ語圏の言語・文学・思想 A～H	2 単位	
ドイツ語圏の芸術・文化 A～H	2 単位	
ドイツ語圏の歴史・現代社会 A～H	2 単位	

外国語学部共通科目		
「外国語学部共通科目について」(P.34) を参照し、1・2 学期に履修できる科目の中から選択してください。		

全学共通授業科目		
「全学共通授業科目」の章 (P.26～29) を参照してください。		

実践ドイツ語

「実践ドイツ語」とは「実践ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の総称で、実践的なドイツ語運用能力の養成を目的とする科目です。リベラルアーツコースの学生にとっては、「実践ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」が必修科目で、「実践ドイツ語Ⅳ」が選択科目になります。プロジェクトコースの学生にとっては、「実践ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のすべてが必修科目になります。実践ドイツ語ではドイツ語母語話者の教員によって授業が行われます。全クラスが同一教材で学修し、共通の評価方法がとられます。第一学期後に成績に基づいてクラス替えが行われます。すべての授業は2時限連続（一回は100分×2=200分）で行われ、週2回の回数で行われます。

<注意>

標準的な進み方としては、1学期に「実践ドイツ語Ⅰ」を、2学期に「実践ドイツ語Ⅱ」を履修します（「実践ドイツ語Ⅲ」は3学期目に履修することになります）。適切な学修効果を得るためには、必修の実践ドイツ語をローマ数字通りとることが望ましいです。ⅠやⅡを修得できなかった場合は、ローマ数字の順番通りに進めない可能性があります。

ドイツ語文法基礎

「ドイツ語文法基礎Ⅰ・Ⅱ（二つのコースのどちらでも必修）」は、ドイツ語の基本的な文法知識を修得するための授業です。日本語母語話者の教員によって週2回（一回100分）行われます。全クラスが同一教材を同一進度で学修し、共通の評価方法がとられます。

基礎演習とリベラルアーツ およびアカデミックスキルズ

「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」と「リベラルアーツⅠ・Ⅱ」「アカデミックスキルズ」は、二つのコースのどちらでも必修科目であり、ドイツ語圏に関する基本的な知識を得るため、そして、大学で行う研究の基本的な手法を身につけるための科目です。（7学期に履修する「リベラルアーツⅡ」は、学術活動を進めるためのスキルをさらに向上させ、実践的に使うことを目的とする科目です）。

リベラルアーツコースの学生にとっては、1・2学期に履修する基礎演習Ⅰ・Ⅱは、3-6学期に履修する「専門演習」の土台となる科目です。さらに7-8学期の「卒業論文演習」、8学期の「卒業論文」へと段階的につながっていきます。

プロジェクトコースの学生にとっては、1・2学期に履修する基礎演習Ⅰ・Ⅱは、3-8学期に履修する「SeminarⅠ・Ⅱ・Ⅲ」の土台となる科目です。さらに8学期の「ドイツ語卒業研究」へと段階的につながっていきます。

専門演習・SeminarⅠ について

3学期以降に学修する「専門演習」・「SeminarⅠ」（ゼミ）は2学期に行われる選択で決定した教員の科目を履修してください。

コース分けについて

2学期の段階で、学生は各自の関心や今後の方向性に応じて、リベラルアーツコースかプロジェクトコースで学びたいか、教務課の指定する方法で選択します。二つのコースについては学科の説明会を聞き、自分の学修目標に沿って希望を出してください。ただし、プロジェクトコースに進む場合には、実践ドイツ語Ⅰ、ドイツ語文法基礎Ⅰ、リベラルアーツⅠ、基礎演習Ⅰの評定平均値（GPA）が2.10以上〔小数点第3位を四捨五入〕が必要です。こうした基準は、プロジェクトコースで行われるドイツ語の授業についていけるかを測る、あくまで技術的な指標です。成績だけではなく、自分の関心や希望に応じてどちらのコースを希望するか、よく考えてください。また、プロジェクトコースの希望者が上限36名を超えた場合には、上記のGPAが高い順からプロジェクトコースに入ることになります（コース選考に使用する評定平均値（GPA）は次の様に求められます。）

コース選考に使用する評定平均値（GPA）の計算方法

$$\text{評定平均} = \frac{([\text{実践ドイツ語Ⅰ、ドイツ語文法基礎Ⅰ、リベラルアーツⅠ、基礎演習Ⅰの修得済み単位数のうち}] \text{AAの単位数} \times 4 + \text{Aの単位数} \times 3 + \text{Bの単位数} \times 2 + \text{Cの単位数} \times 1)}{\text{評価が「AA, A, B, C, F, FG」の実践ドイツ語Ⅰ、ドイツ語文法基礎Ⅰ、リベラルアーツⅠ、基礎演習Ⅰの単位数}^*}$$

*評価が「P」の単位数は分母に含みません。

【注意事項】

上記の評定平均値（GPA）は留学の条件となるGPAや成績通知表に記載されるGPAとは異なります。

「English」
(全学共通授業科目)

再履修について

I学期から8学期までに、全学共通授業科目英語部門「English」から、必修として合計10単位を履修します。

必修科目が未修得となった場合でも、再履修者だけのクラスは設置されません。

必修科目が未修得となった場合、再履修者のためだけのクラス（逆転コマ）は存在しないため、翌年度にその科目が登録されます。

再履修科目と必修科目の時間割の曜日・時限が重複した際には、教務課外国語学部係までご相談ください。

2学年 (3・4学期)

2年次は、リベラルアーツコースとプロジェクトコースに分かれて学び始めます。1年次よりも専門性を深めた学修を行う時期です。履修できる科目も増え、さらに他学部・他学科の履修も可能になっていきます。自分の専門を踏まえて、履修計画を立てていきましょう。

登録できる単位数

3学期に登録できる単位数は**23**単位、4学期に登録できる単位数も**23**単位です。ただし、教職・司書教諭・司書課程科目はこの中に含まれません。

専門演習およびSeminar I

3学期より、リベラルアーツコースは「専門演習」、プロジェクトコースは「Seminar I」の履修が開始となります。選考や履修方法については、P.44を参照してください。

学外ドイツ語活動

学外ドイツ語活動は、プロジェクトコースでは必修科目、リベラルアーツコースでは選択科目となります。この科目は標準として3学期以降を推奨としています。詳細は、P.42を参照してください。

履修できる科目

リベラルアーツコース
必修科目

外国語科目		
科目	単位数	備考
実践ドイツ語Ⅲ	4(1単位×週2回) (1日2時限連続)	受講指定
ドイツ語読解Ⅰ	2(1単位×週2回)	受講指定
ドイツ語読解Ⅱ	2(1単位×週2回)	受講指定

演習科目		
科目	単位数	備考
専門演習	2(2単位×週1回)	選考

プロジェクトコース
必修科目

外国語科目		
科目	単位数	備考
実践ドイツ語Ⅲ	4(1単位×週2回) (1日2時限連続)	受講指定
実践ドイツ語Ⅳ	4(1単位×週2回) (1日2時限連続)	受講指定
Kontext	2(2単位×週1回)	選択
学外ドイツ語活動	2単位	受講方法は、 P.42を参照

演習科目		
科目	単位数	備考
Seminar I	2(2単位×週1回)	選考

リベラルアーツコース、
プロジェクトコース 共通

全学共通授業科目			
部門	科目	単位数	備考
英語部門	English	4(1単位×4科目)	受講指定

選択できる科目

3・4学期に履修できる「外国語科目」、「リベラルアーツ科目」については、「ドイツ語学科科目特性表」(P.39)を参照してください。

3・4学期に履修できる「外国語学部共通科目」については、「外国語学部共通科目特性表」(P.34)を参照してください。

3・4学期に履修できる「全学共通授業科目」については、「全学共通授業科目」の章(P.26~29)を参照してください。

他学部・他学科の履修は、他学部・他学科のページを参照してください。

実践ドイツ語Ⅲ・Ⅳ	「実践ドイツ語Ⅲ（二つのコースのどちらでも必修）」は、実践ドイツ語Ⅱと同じクラスです。指定されたクラスの科目を履修してください。また「実践ドイツ語Ⅳ」はリベラルアーツコースの学生にとっては選択科目であり、プロジェクトコースの学生にとっては必修科目です（詳細は「実践ドイツ語」P.44の説明を参照）。
ドイツ語読解Ⅰ・Ⅱ	「ドイツ語読解Ⅰ・Ⅱ」はリベラルアーツコースの学生にとって必修科目になっています。ドイツ語のテキストを読み解くことで、「ドイツ語基礎文法」で得た基本的な知識を応用し発展させていくことを目標としています。「ドイツ語基礎文法Ⅱ」の成績をもとに習熟度別のクラスが編成されます。授業は週2回（1回100分）行われます。
専門演習・SeminarⅠ	リベラルアーツコースの学生は、2学期目に選んだ教員の下で3学期目から専門演習を履修します。週1回の授業に参加し、原則として3-6学期の間に8単位を取る必要があります。プロジェクトコースの学生は、2学期目に選んだ教員の下で3学期目からSeminarⅠを履修します。週1回授業に参加し、3・4学期の間に4単位を取る必要があります。なお、5・6学期に履修する「SeminarⅡ」は4学期に行われる選択で決定した教員のものを履修してください。
Kontext	<p>「Kontext」は2年次配当のプロジェクトコースの学生にとっての必修科目です。卒業までに20単位を修得する必要があります。リベラルアーツの学生にとっては、この科目は選択必修に含まれ、German Studies in EnglishⅠ・Ⅱと本科目の中から合計4単位を卒業までに修得する必要があります。Kontextの授業は週1回（100分）、半期で行われ、2単位が修得できます。</p> <p>この授業では、3つの分野（ドイツ語圏における言語・文学・思想、芸術・文化、歴史・現代社会）のいずれかに焦点を当てた特定のテーマを扱ったテキストやオーディオ、映像の内容を理解し、他人に伝え、議論する方法を学びます。これらのコースはCLIL原則（Contents and Language Integrated Learning内容言語統合型学習）に基づいており、受講者はコースの内容を学ぶことを通じてドイツ語の知識と技能を向上させます。これらのコースはA2からC1の異なる言語レベルが提供されることになっています。2～4年次で受講できます。</p> <p>学年とは関係なく、自分の語学レベルにあった授業を取ることを強く推奨します。</p>
英語 (ドイツ語学科の外国語科目)	リベラルアーツコースの学生にとっては、Kontextならび「German Studies in EnglishⅠ・Ⅱ」は選択必修科目です。プロジェクトコースの学生にとっては「German Studies in EnglishⅠ・Ⅱ」は選択科目です。
「English」 (全学共通授業科目)	Ⅰ学期から8学期までに、全学共通授業科目英語部門「English」から、必修として合計10単位を履修します。
再履修について	<ol style="list-style-type: none"> ①必修科目が未修得となった場合でも、再履修者だけのクラスは設置されません。 ②重複可能な科目を除き、一度履修した科目を再度取ることはできません。 ③Ⅰ・2学期で事前登録される科目が未修得である場合、3・4学期にも優先的にその授業が時間割に登録されます。 ④再履修科目と必修科目の時間割の曜日・時限が重複した際には、教務課外国語学部係までご相談ください。

3学年（5・6学期）

登録できる単位数

5学期に登録できる単位数は**24**単位、6学期に登録できる単位数も**24**単位です。ただし、教職・司書教諭・司書課程科目はこの中に含まれません。

履修できる科目

科目特性表で履修できる科目を確認のうえ、履修してください。すでに修得済みの科目は履修できません（ただし、重複履修できる科目を除く）。

専門演習、専門講読演習、Seminar IIについて

リベラルアーツコースの学生は、原則として3・4学期と同じ教員のもとで専門演習を履修します。そして原則として同じ教員が担当する専門講読演習を履修します。この専門講読演習も、専門演習担当の教員の授業が自動的に登録されます。時間割が重複しない限り、専門演習担当教員の許可がある場合には、さらに他の教員の専門講読演習を取ることができます。プロジェクトコースの学生は、原則としてSeminar IIを履修します。

なお、7・8学期に履修する「Seminar III」は6学期に行われる選択で決定した教員のものを履修してください。

Projekt

「Projekt I・II」は、3年次から配当のプロジェクトコースの学生にとっての選択必修科目です。卒業までに「Projekt I・II」の中から合計8単位を修得する必要があります。リベラルアーツの学生にとっては、この科目は選択科目です。「Projekt I・II」の授業は週1回（100分）、半期で行われ、一つの授業で2単位が修得できます。

この授業では、受講者は少人数のグループに分かれ、授業の枠組みで定められたテーマに関して自ら問いを立てて、研究プロジェクト（アンケートや文献調査など）を実施します。こうして受講者は研究プロジェクトの計画、情報・データの収集と処理、分析、結果の発表と討論の方法を学びます。ここでのテーマは、ドイツ語圏における言語・文学・思想、芸術・文化、歴史・現代社会の3分野のいずれかに属します。受講者はCLIL（Contents and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習）の原則に沿って、研究プロジェクトに取り組みながらドイツ語力も向上させます。この授業は3年次と4年次に履修することができます。

「English」 （全学共通授業科目）

1学期から8学期までに、全学共通授業科目英語部門「English」から、必修として合計10単位を履修します。

再履修について

- ①1・2学期および3・4学期に指定された必修科目および選択必修科目の単位を修得できなかった学生は、すべての科目に優先してその科目を履修してください。
- ②再履修の方法は、科目により異なります。『授業時間割表』の指示にしたがって履修してください。
- ③「専門演習」「専門講読演習」「Seminar II」と再履修科目の曜日・時限が重複した場合は、教務課外国語学部係に相談してください。

4学年（7・8学期）

登録できる単位数

7学期に登録できる単位数は**24**単位、8学期に登録できる単位数も**24**単位です。ただし、教職・司書教諭・司書課程科目はこの中に含まれません。

リベラルアーツⅡ (4年生全員)

「リベラルアーツⅡ」は、2単位の必修科目です。7学期目に自動的に登録されます。

「卒業論文演習」と「卒業論文」 (リベラルアーツ コースの学生)

「卒業論文」は、4単位の必修科目です。これまでの研究の集大成として取り組んでください。「卒業論文」を履修するには、同時に「卒業論文演習」を履修する必要があります。原則としてこれまでの専門演習の担当教員のもとで「卒業論文演習」を履修し、卒業論文の完成を目指します。ただし、「卒業論文演習」を履修するには、「アカデミックスキルズ」および、「基礎演習Ⅰ」か「基礎演習Ⅱ」のどちらかの単位を修得している必要があります。既修条件を満たしている場合、8学期目に自動的に登録されます。適時、担当の教員と密に連絡を取り合い、期日までに提出してください。なお、「卒業論文」は、卒業再試験の対象となりません。

提出される卒業論文には、主査と副査がつきます（主査は、「卒業論文演習」の担当教員です）。提出後、主査と副査による口述試験を経て、最終的に成績が決定します。内容の詳細な規定については、学科が発行する卒業論文に関する説明（4年次最初に配布予定です）をご覧ください。

「SeminarⅢ」、「ドイツ語卒業研究」 (プロジェクト コースの学生)

「ドイツ語卒業研究」は、4単位の必修科目です。これまでの研究の集大成として取り組んでください。「ドイツ語卒業研究」を履修するには、同時に「SeminarⅢ」を履修している必要があります。ただし、「SeminarⅢ」を履修するには、「アカデミックスキルズ」および、「基礎演習Ⅰ」か「基礎演習Ⅱ」のどちらかの単位を修得している必要があります。既修条件を満たしている場合、8学期目に自動的に登録されます。適時、担当の教員と密に連絡を取り合い、発表の準備に取り組んでください。なお、「ドイツ語卒業研究」は、卒業再試験の対象となりません。

「SeminarⅢ」は、週2回同一教員となります。

専門講読演習

リベラルアーツコースの学生は、7・8学期も継続して、原則として専門演習、卒業論文演習と同じ教員のもとで専門講読演習を必修として学びます。最終的に専門講読演習は8単位必要です。

Projekt

プロジェクトコースの学生は、ProjektⅠ・Ⅱを合計8単位、選択必修として取る必要があります。

再履修について

- ①5・6学期までに指定された必修科目および選択必修科目の単位を修得できなかった学生は、すべての科目に優先してその科目を履修してください。
- ②再履修の方法は、科目により異なります。『授業時間割表』の指示にしたがって履修してください。
- ③「卒業論文演習」「SeminarⅢ」と再履修科目の曜日・時限が重複した場合は、教務課外国語学部係に相談してください。

卒業について

卒業に必要な単位は128単位です。コースにより卒業要件が異なりますので卒業要件を満たしているかどうかよく確認したうえで、十分注意して履修登録を行ってください。卒業合格発表は、3月上旬です。

卒業再試験

卒業再試験とは、卒業に必要な単位のうち、不足が4科目以内である場合に受けられる試験です。ただし、科目担当教員の評価が「FG」（不可で再試験不許可）の科目については、受験することができません。